

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習に意欲的に取り組む児童が多い。内容理解や音読の技能も高まってきている。</li> <li>・相手意識をもって話したり、聴いたりすることに課題がある。</li> <li>・自分の考えを分かりやすく文章に表すことに課題がある。（表現の仕方、語彙の不足）</li> <li>・物語文を場面の変化に着目して読み取れる児童が多いが、説明文では、筆者の考えを基に自分の考えをもつことに課題がある。</li> <li>・文法、文字や語句、漢字の理解に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書教材以外の音読にも取り組み、語彙力や表現力を高める。</li> <li>・友達と意見を交流する機会を意図的に設け、自分の考えを話したり、友達の考えを聴いたりすることの楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・様々な種類や分量の文章を書くことに慣れる。書いたものを友達と見合うことで、文章を推敲する際の参考にしたり良い表現に触れたりする。</li> <li>・説明文では、キーワードをつなげて要約しながら大切なことを読み取り、筆者の考えを捉えられるようにする。筆者の考えや要約を決められた文字数でまとめられるようにする。</li> <li>・文字や語句、漢字、文法のプリントなどを活用して理解を深める。（けやきタイム、家庭学習など）</li> <li>・国語辞典や漢字辞典を引いて自分で調べることができるように、環境を整える。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュース番組や世の中の出来事に関心が高く、都道府県の位置や県庁所在地、特徴に興味をもつ児童が多い。</li> <li>・資料や生活の中の問題から、自分たちで学習課題を立てることができた。</li> <li>・地図、写真、グラフ、年表などの複数の資料を読み取ったり、読み取ったことを基に考えたりする力を高める必要がある。</li> <li>・調べたことをノートやポスター、新聞などに表現する力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県クイズを活用し、都道府県に対する理解を深める。ニュースと関連付けて取り上げ、位置や特徴を復習する。</li> <li>・問いに対して、最後まで意欲的に学習を進めていけるように、適切な資料を用意したり毎時間のめあてを明確にしたりする。</li> <li>・複数の資料から情報を選択、比較し、整理できるよう、資料の見方を指導し、読み取る活動を積み重ねる。</li> <li>・資料の読み取り方やまとめ方のよさを児童がイメージできるように、手本となるノートや作品を紹介する。</li> <li>・単元のまとめの学習で作品を掲示して学年で見合うことで、表現力を高める。パンフレットやポスターなど様々な方法でまとめ、経験値を増やす。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算力の正確さと速さや、コンパスや分度器などの用具の使い方について個人差がある。</li> <li>・問題の内容理解をスムーズに読み解いたり、深く考えたりすることが得意ではない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けやきタイムに、計算ドリルに付属している練習プリントなどに繰り返し取り組んだり、毎日の宿題に計算ドリルの問題を計画的に取り組ませたりして、基礎基本の理解を深める。</li> <li>・解決の必然性のある問題を提示し、問題→めあて→（見通し）自力解決→集団解決→まとめ（適用問題）を基本とし、見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を図や数直線、言葉、式でノートに表し、それぞれを関連付けながら簡潔な言葉で説明するのに時間を要する児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題場面を図や数直線、言葉、式など、多様な方法でノートに表現できるようにする。</li> <li>友達の考えを自分の言葉で説明する活動を取り入れ、他者の考えに積極的に触れることで、そのよさに気付けるようにする。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活場面から問題を見いだすことができる児童がいる。</li> <li>実験や観察に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>仮説を立てるときに、生活経験と結び付けながら根拠を明確にして表現することに課題がある。</li> <li>実験道具の正しい使い方について習熟度に差がある。</li> <li>実験結果の予想と結果を照らし合わせて考察をしていくことに慣れていない児童が多い。</li> <li>実験や観察の結果を分かりやすく表し、結論を導出する力をさらに高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題→仮説→結果の予想→実験・観察→結果→考察→結論を基本とし、児童が見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。</li> <li>仮説を立てる際に理由を明確にノートに表現する指導を重視する。</li> <li>なぜ実験結果がそうなったのかについての原因を考えるようにし、結果の予想と照合しながら結果から言えることを考察とする。</li> <li>体験を伴って実験道具の正しい使い方を理解できるようにする。</li> <li>考察から問題に立ち返って結論を導き出し、ノートに簡潔に書くことを積み重ねる。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽譜を見て正確にリズム打ちをする児童が出てきた。しかしまだ何となく感覚でリズム打ちをする児童もいる。</li> <li>リコーダーの音が出せない中、電子キーボードで楽譜を読む練習を集中して行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習した楽曲のリズムを使ったり、歌いながらリズム打ちをしたり正確に楽譜を読む練習を1小節または2小節ずつなど、短い単位で行う。</li> <li>ペア学習やグループにより指使いの確認や音色の違いを聴き比べる活動を行い、短時間で学習できるようにする。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に見通しがもてない児童がいる。</li> <li>自分の思い通りにならない時に自分で考えて解決することができない。</li> <li>既習事項を生かして表現できていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者や友達と考えながらつくる。手順を細かく分けて考えるよう指導する。</li> <li>計画的な造形体験を積みませ、技能の定着を図る。</li> <li>表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に運動に取り組むことができる。準備や片付けも協力して手際よく行うことができる。</li> <li>チームでアドバイスしたり、励ましたりしながら運動することができる。</li> <li>勝敗にこだわるあまり、友達の動きに注目し、良さを見付けることができない。</li> <li>運動の動きを具体的に思考し、判断して行動することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード（個人・チーム）を活用し、本時の学習に見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>グループで作戦を考えたり、その結果を振り返ったりする時間を設ける。</li> <li>学習カードを活用したり、試合や練習の様子を動画に録って客観的に振り返りができるようにしたりする。</li> <li>活動前や活動後に、技能のポイントを動画やイラストを用いて具体的に紹介する。</li> </ul>	